

令和8年第5回（9月）定例会 一般質問通告表

順	質 問 事 項	質 問 者
1	1 佐渡における持続可能な農業政策について (1) 仮渡金の大幅下落による農家への影響はどのように想定しているか (2) 国、県の農業政策に対して、どのような働きかけを行うか (3) 後継者育成や法人化に対して、市の支援策強化が必要ではないか 2 移住交流人口の維持拡大政策について (1) 移住者のアフターケアに関して、来年度以降の対応はどうしていくのか (2) 移住者による島内ビジネスの課題は何か。また、支援策は十分か (3) 移住者に対する「空き家」の利活用はできているのか (4) 医療、教育分野の課題に対して、庁内横断的な対策はどのように行われているのか 3 佐渡空港の利活用拡大について (1) トキエアを中心とした民間ベースのチャーター便利用が予定されているが、県及び本市の支援策は何か (2) 今回の成果と課題を市も共有化して、来年度以降の空港利活用拡大政策を考えるべきではないか (3) 現滑走路の利活用促進と 2,000 メートル化の実現を同時並行的に実施していくための県と市のビジョンはあるのか	林 純 一

順	質 問 事 項	質 問 者
2	1 拉致被害者救済について 内閣官房拉致問題対策本部と特定失踪者問題調査会が開催している、北朝鮮向けラジオ放送の公開収録を、是非とも佐渡の会場で企画をしてほしいという声が出ているが、どこまで進んでいるか 2 不登校の現状を問う (1) 佐渡市の不登校者は令和7年度では小学生27名・中学生63名となり、令和6年度から15%減少したが、その要因は何か (2) 不登校者の相談先であり、支援を行う心の相談室があるが活動状況はどうなっているか 3 線状降水帯の被害が大きい、佐渡市での対策はどのように考えているか (1) 災害が大規模になっているが、どのような対策を考えているか (2) ボートなどの用意はどのくらいあるのか (3) 老朽化している水道管の対策を考えているか (4) 住宅浸水被害を未然に防ぐためにどのような対策を考えているか 4 定住化に向けた住宅施策を佐渡市はどこまでやっているか (1) 若者世帯UIターン者の移住者はどのくらいか (2) 「二地域居住」の取組について、モデルの実証調査はどのように進んでいるか (3) 「二地域居住」の取組で住民税の課題はどうなるのか (4) さどマッチボックスの利用者はどれくらいなのか (5) さどUIターン・地元就職応援サイトCOMPASSの利用者はどれくらいなのか 5 佐渡市のスポーツ振興について (1) 佐渡スポーツ振興大使、オリンピックメダリストの松田丈志氏を招いてスペシャルイベントをヒルトップアリーナ佐渡で開催したが、その効果と今後の目標は何か (2) 昨年11月29日(土)に行われたウォーキングイベント～目指せ健康日本一～の参加者はどのくらいで、その後もウォーキングをする人は増えたか (3) 地域クラブ関係者、指導者、保護者向けに、ジュニアスポーツクラブ優良指導者認定証の取得・更新講習会を行っているが、中学校教員の時間外労働の改善はできたか。また、子供の数が減ることで、スポーツクラブの維持など今後の課題をどう捉えているか (4) 部活動の遠征などの送迎バスについて、運転手の健康管理の事前打合せが必要だが、どのように対策しているのか (5) 佐渡で初のトレイルランニング大会が10月17日(土)に開催されるが、この企画の狙いと目的は何か。参加者申込み状況、ボランティアの人数の確保はどうか。また、救護班はどのように設置するのか 6 観光客を増やすには (1) マスコミで佐渡を大きく取り上げてもらうために、どのような営業をしているのか (2) 通年観光を目指すためにどのようなPRをしているのか (3) 外国人観光客を増やすため、食と芸術、体験などどのような取組をしているのか	佐々木ひとみ

順	質 問 事 項	質 問 者
3	1 地域防災計画を実行できる避難所運営体制について問う (1) 能登半島地震等の教訓を踏まえた指定避難所中心の避難所体制の検証について (2) 集落単位の分散型避難所の位置づけについて (3) 避難生活の質の確保について (4) 女性・要配慮者等、多様な住民が参画する避難所運営について (5) 集落単位の避難生活モデルの実証について (6) 停電・通信障害を前提とした多重的な災害情報伝達体制の構築について (7) 国の「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」及び自治体別調査結果を踏まえた、地域防災計画・避難所運営マニュアルの実効性の検証について (8) 避難所担当職員等への研修・実践訓練及び女性、乳幼児、高齢者、障がい者等に配慮した備蓄品の整備・分散配置及び期限・在庫管理について 2 介護保険法改正に伴う「特定地域」制度と第10期介護保険事業計画について問う (1) 佐渡市が「特定地域」の対象となる可能性について (2) 特定地域制度に対する市の基本姿勢について (3) 介護保険給付から地域支援事業への移行について (4) 人員配置基準の緩和とサービスの質・安全性について (5) 人口減少を理由とした介護サービスの縮小について (6) 第10期介護保険事業計画の策定手続と市民参加について (7) 市営高齢者施設等の再編と特定地域制度との関係について (8) 人員配置基準の緩和に頼らない介護人材確保策について 3 焼却施設の長寿命化と厨芥類の資源循環について 佐渡市の燃やすごみの約40%を占める厨芥類について、市民への減量要請にとどまらず、分別・資源化によって焼却依存から転換する必要があると考え、以下について問う (1) 家庭系・事業系厨芥類の年間発生量と、水分が焼却経費、二酸化炭素排出量及び焼却設備に与える影響の把握状況について (2) 3キリ運動、段ボールコンポスト及び生ごみ処理機購入補助による削減量と費用対効果について (3) 集落、学校給食、福祉施設、宿泊施設等を対象とした生ごみ分別収集モデル事業の実施について (4) 生ごみ、汚泥、家畜排せつ物、もみ殻、稲わら、剪定枝等を活用した堆肥化、液肥化及びバイオガス化の可能性について (5) 一般廃棄物処理基本計画への厨芥類の焼却削減目標及び分別・資源化工程表の位置づけについて	佐 藤 定

順	質 問 事 項	質 問 者
4	1 頻発する自然災害への備えについて (1) 令和4年12月の大雪災害や昨年8月に南佐渡地域を襲った集中豪雨及び先月来の各地における豪雨被害からの教訓は (2) 全国で地震が頻発し不気味な様相である。いざというときの備えが求められるが、能登半島地震以後の取組は (3) 道路の寸断、情報通信の途絶など、本庁からの指示や支援が遅延する事態への対応策と市民センターの備え及び住民との連携について 2 島のにぎわいから経済的利益に繋げる手法について (1) 観光客増が及ぼす島経済への影響調査について (2) 学生による合宿や交流に向けた島内交通と簡易宿泊について (3) 二地域居住の推進と創業支援策について (4) 佐渡航路船舶のリプレイスについて 3 教育と生徒への支援について 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について (1) 教育委員会での議論と評価方法について (2) 図書館の活用と学ぶ心の育成について (3) 地域クラブ活動について	金 田 淳 一

順	質 問 事 項	質 問 者
5	1 各地域の地域芸能・祭りの継続が困難となっていることの把握と共に対策はしているか (1) 地域芸能の継続ができなくなっていくことをどのように分析しているか (2) 全国では担い手の派遣・学校連携・用具補助・デジタル記録など具体的な維持・保存対策が進んでいる。佐渡市は地域の祭り・芸能の維持・保存対策をどのように位置づけ、どのような施策を実施しているのか (3) 担い手不足が深刻化しているが、市として担い手確保のための支援（外部人材の派遣、若者参加の仕組み、学校連携）は検討しているか (4) 若者の地域参加を促す施策の中に、祭り・芸能の担い手の育成は含まれているか (5) 祭り・芸能の用具修繕費や備品購入への補助制度を拡充する考えはあるか (6) 佐渡市は地域の祭り・芸能を「地域衰退防止の重要施策」としてどのように維持・保存し、次世代につなぐのか 2 人権キャラバンを受けて佐渡市は人権に対してどのようにかじを切るか (1) 人権条例制定の検討状況はどうか (2) 障害者差別解消法に基づき佐渡市が実施した施策にはどのようなものがあるか (3) ヤングケアラーが佐渡市内にどのくらい存在していると把握しているか (4) 本人通知制度の登録数を示されたい。登録促進のための数値目標は設定しているか 3 佐渡空港 2,000 メートル化の進捗状況を説明してもらいたい (1) 今年度になってからの計画の進捗状況を説明してもらいたい (2) ATR42—600Sの開発は中止により、佐渡空港の現状の滑走路では定期航路が困難になり 2,000 メートル化の計画を実現させる以外に現実的な選択肢はあるか (3) 学識経験者から「佐渡市の過去の対応に大きな問題があった」との指摘があるが、市長はこの評価をどう受け止めるか。過去の対応のどこに問題があったと認識しているのか。改善策を示されたい 4 観光の島佐渡の道の駅あいぽーと佐渡が不評だが、改善の考えはないか (1) 景観立地は評価されるが、観光施設としての満足度は低いことを把握しているか (2) 佐渡観光の玄関口として、道の駅が観光案内・交通案内・体験予約の一体窓口となる仕組みを整備する考えはあるか (3) 道の駅をバス、レンタカー、自転車などの交通結節点として再整備する考えはあるか。観光客の移動利便性向上に直結するが、市の方針はどうか (4) 全国の道の駅では指定管理者制度を活用し、物販・体験・観光案内を一体運営している。市直営のままで機能強化は可能と考えているのか 5 佐渡市は高校の島留学を発信してその結果も出ているが、現場の困難さを把握しているか (1) 島留学は何を目指しているのか (2) 今のままでは人口増の糸口とはなり得ず、現場の苦勞が報われないのではないか (3) 学校現場・寮運営・地域側の負担について、市はどのように把握し、どのような支援を行っているのか。今後の改善策は考えているか	中 川 健 二

順	質 問 事 項	質 問 者
6	1 障がい者の市有施設利用料の見直しについて (1) 利用料の見直しによる施設間の減免格差の改善内容と、対象外となる施設・利用区分への対応はどうか (2) 指定管理施設を含めた減免の共通基準と公平な運用、必要な介助者の減免をどう図るか (3) 確認・申請手続の簡素化、利用者への周知、窓口職員・指定管理者への運用の徹底をどう進めるか 2 公共施設のキャッシュレス決済と利用手続の改善について (1) キャッシュレス決済導入後の利用状況と課題をどう把握し、利便性向上と業務効率化につなげるか (2) 公民館を含む未導入施設への拡大方針と実施の見通しはどうか (3) オンライン申請と予約状況の見える化について、6月定例会以降の検討状況はどうか。利用者と職員の負担軽減に向け、手続の見直しと予約・申請・支払いを一体化する仕組みの整備をどう進めるか。その方針と時期はどうか 3 夏季・お盆期の観光受入体制について (1) 今年の海水浴場の入込状況と観光への効果をどう評価し、本市の観光資源としてどう位置づけているか。また、受入環境整備について、6月定例会以降の検討状況と課題は何か (2) 夏季・お盆期間の来島者数、宿泊施設・キャンプ場の利用状況、観光客・帰省客の動向をどう把握・分析しているか。また、島内の宿泊受入能力とその変化を踏まえ、誘客と受入体制の改善をどう進めるか (3) 夏季・お盆期間のごみの収集量や回収状況、市民生活への影響をどう把握しているか。繁忙期の課題と、来年に向けた周知・回収体制等の改善方針はどうか (4) 海水浴場の夕方以降の利用需要を踏まえ、繁忙期の一部施設で、更衣室・トイレ・シャワー等を午後8時頃まで開放する取組を試行できないか。その際、海上監視時間との区分を明確にし、安全管理・運営体制をどう確保するか (5) 佐和田海水浴場への来訪を地域内の消費につなげるため、海の家を中心とした飲食・休憩・交流の場づくりと、地域事業者が公平に参加できる連携を進められないか	平田和太龍

順	質 問 事 項	質 問 者
7	1 市の防災対策について (1) 両津港の岸壁耐震化の進捗状況と今後のスケジュールは (2) 学校体育館のエアコン設置について、改めて推進すべき (3) 避難時のペット同行避難、同伴避難、一時預かりの体制は整っているか 2 教育行政について (1) 教育長続投における、1期目の総括と2期目の抱負、目標は何か。その実現に向けた具体的方策は何か (2) 小・中学校の標準学力検査NRTの令和7年度実績に対する教育長の評価と、今後の学力向上に向けた具体的方策は何か	山 田 伸 之

順	質 問 事 項	質 問 者
8	◎ 7月には熊本地震、8月には千葉豪雨、梅雨前線豪雨と激甚災害が続いた。佐渡市は離島であり、物流・人員・医療の制約が大きい。だからこそ、災害時に市民の命を守るためには、避難所の質を早期に確保することが極めて重要である (1) 避難所運営の質向上 避難所の質を 48 時間以内に確保する「スフィア基準」の考え方をどの程度取り入れているのか。発災後 48 時間以内に、清潔なトイレ、温かい食事、ベッドを整備するための体制について、現状を問う (2) 備蓄品の量・種類・更新状況 市内避難所の備蓄品の現状（数量・種類・更新頻度）、特に不足が指摘されるベッド、簡易トイレ、発電機、衛生用品、パーティションの備蓄量は、「スフィア基準」に照らして十分なのか問う (3) 体育館のエアコン整備 国の補助制度は検討しなかったのか。また、夏季・冬季の体育授業や避難生活における熱中症・低体温症リスクについて、どのように評価しているのか問う (4) 要配慮者支援 高齢者・障がい者・乳幼児・妊産婦など要配慮者の個別避難計画の策定状況と、未策定者への対応、また、福祉避難所の指定状況について問う (5) 地区防災計画 地区防災計画作成の進捗状況について問う	栗 山 嘉 男

順	質 問 事 項	質 問 者
9	1 大規模災害を見据えた佐渡市の防災と広域支援体制について (1) 能登半島地震や熊本地震を踏まえた防災体制の課題と地域防災計画等への反映状況について (2) 避難所の環境整備、要配慮者への対応、民間施設・物資等の活用について (3) 災害廃棄物、し尿処理、飲料水・生活水の確保について (4) 佐渡総合病院の事業継続計画（ＢＣＰ）と医療提供体制、島外搬送等の広域連携について (5) 発電所の被災や燃料の受入れ・輸送途絶に備えた電力確保について (6) 本土側も被災することも想定し、新潟港・直江津港等を拠点とした、佐渡への物資・人員・重機・燃料等の後方支援をどのように確保するのか 2 骨太の方針 2026・日本成長戦略等を踏まえた今後の佐渡市の政策と方針について (1) 骨太の方針 2026 が来年度の佐渡市に与える影響と国へ要望した事業に係る予算・制度について (2) 日本成長戦略の 17 の戦略分野や、地域未来戦略における各種産業クラスターへの島内事業者の参画と、国・県への働きかけについて (3) 地場産業成長プランの策定・県への提出状況について (4) 国・県・市の成長戦略の重点分野に入っていない佐渡の基幹産業・事業所への支援について (5) 国の方針を踏まえた、佐渡市の令和 9 年度予算編成方針について 3 不適正事務の解消と、挑戦する人材・組織づくりについて (1) 不適正事務の根本的な原因について (2) 副市長を中心とした不適正事務の解消に向けた取組と、目指す職員・組織の姿について (3) 3 月定例会の代表質問で、トキ認証米制度の実現について市長が答弁した「危機感」「希望」「大きな期待」という考え方を、市職員の人材育成と組織づくりに生かすことについて、市長の見解を問う	広瀬 大海

順	質 問 事 項	質 問 者
10	1 非核三原則について 8月6日の広島平和記念式典における高市総理の非核三原則に関する発言については、将来にわたる堅持を明言していないとして批判や懸念が示されている 佐渡市の「非核平和都市宣言」は、わが国が非核三原則を堅持することを求めている。戦後81年を迎えた今、高市総理の発言をどのように受け止め、非核三原則を将来にわたって堅持することについてどう考えるか、市長の見解を問う 2 今年度の米価と佐渡農業について 生産資材が高騰する中、今年度産米の概算金が生産費を十分に賄えない水準となれば、離農を加速させ、地域経済にも大きな影響を及ぼす 2020年農林業センサスでは、佐渡市の65歳以上の基幹的農業従事者は78.3%を占める。今年度産米の価格と生産費との関係をどう捉えているか。また、高齢化と離農が進む佐渡農業の現状と今後について、市長の見解を問う 3 市政事務嘱託員制度について (1) 市政文書等の配布方法 2025年12月議会で、市政事務嘱託員を通じた市政文書及び選挙公報等の配布について意向調査等を行う考えが示された。その後の調査・検討状況を問う (2) 市政事務嘱託員制度の見直し 人口減少、高齢化、集落機能の低下、担い手不足が進む中、市政事務嘱託員制度そのものの見直しが必要ではないか。地区によっては15項目程度の業務を示しているが、市はその業務内容と負担をどのように認識しているか (3) 地域活動における補償制度 市政事務嘱託員等を中心とした地域活動について、現在の補償制度は、草刈りや環境整備などを含め、市民が安心して活動できる十分な内容となっているか。また、学校教育、社会教育その他の市民活動中の事故等に対する補償制度について問う 4 地域防災計画について (1) 激甚化する自然災害への対応 豪雨、河川氾濫、土砂災害、地震などが激甚化する中、多くの災害リスクを抱える佐渡市の現在の防災・減災対策は十分であるとの認識か (2) 地域防災計画の実効性 令和6年10月修正版地域防災計画で、大雪による長期停電や能登半島地震等の教訓、防災・避難体制、物資、通信、電源確保などにどのように反映したか。また、現在の計画及び実施体制は十分との認識か。計画変更点の実効性はどうか (3) 市民センター化と地域防災体制 支所の市民センター化に伴い、地域防災拠点としての機能をどのように引き継いだか。災害時の指揮命令系統、職員配置、市災害対策本部との連絡体制、現地対策本部の設置場所及び責任者をどのように整理しているか 5 医療と介護の連携について (1) 病床削減の影響 佐渡総合病院が48病床を削減する方針を示している。県の地域医療構想や第8次地域保健医療計画との関係を含め、佐渡地域の医療提供体制への影響を市はどのように認識しているか	中 川 直 美

	(2) 医療と介護の連携 ① 病床削減が進む中、医療と介護の連携によって対応しているが、具体的にどのような体制を想定しているのか ② 回復期・慢性期から在宅医療・介護まで、現在の佐渡の医療・介護資源で十分に対応できるとの認識か (3) 介護保険制度の改正に伴う特定地域指定 介護保険制度の改正に伴う特定地域指定はどのような影響になるか	
--	--	--

順	質 問 事 項	質 問 者
11	◎ 聴覚障がい者の情報保障施策の進捗検証、手話通訳者育成への渡航費助成、及び「佐渡市手話言語条例（仮称）」の制定について (1) 令和7年6月議会答弁における情報保障・ユニバーサル施策の進捗について ① 聴覚障がい者等に対応可能な店舗・施設情報の一元化及び市民・観光客への可視化（登録・案内体制）に向けた検討状況 ② 指定避難所における要配慮者スペースの事前確保、筆談等のコミュニケーション支援体制及び補助犬（盲導犬・介助犬・聴導犬）受入れの市民・職員への周知状況 ③ 市職員向け手話研修及び障がい理解促進研修の再開・全庁的な実施状況 (2) 離島特有の負担を解消する手話通訳者育成支援（交通費等助成）の拡充について ① 市内における手話通訳者・手話奉仕員の現状把握と、担い手確保に向けた課題認識 ② 新潟県手話通訳者養成講座の受講に伴う船賃・交通費・宿泊費等に対する、市独自の金銭的助成制度の拡充について (3) 国の手話施策推進法を受けた「佐渡市手話言語条例（仮称）」の制定について ① 手話施策推進法の施行を踏まえた佐渡市障がい者プラン等への反映と基本姿勢 ② 9月23日「手話の日」に合わせたブルーライトアップや広報等による市民啓発の実施について ③ 当事者（ろう者・難聴者・中途失聴者・手話通訳者等）が参画する検討委員会の立ち上げ及び「佐渡市手話言語条例（仮称）」制定に向けた市長の見解について	坂下真斗

順	質 問 事 項	質 問 者
12	1 佐渡市水道事業ビジョン（令和8年3月改訂版）について (1) 人口減少を前提とした水道事業の将来像について (2) 施設再編による水質の変化と地域間の格差是正について (3) 佐和田水源の処理方式の検討について (4) 水道事業の負担（使用者の料金・一般会計繰入・企業債・国からの支援）の将来像について 2 東京電力から新潟県への拠出金や離島特有の防災課題について (1) 東電拠出金による本市への影響について (2) モニタリングポストの適正な配置や運用について (3) 島外避難時の経路検証について ① 現行の輸送力や新潟港到着後の移動手段のシミュレーションについて ② 新潟西港区域が受入れ不可の場合の新潟東港や酒田港等の利用可能性はどうか (4) 離島特有課題を検証するための専門的人材の必要性について 3 人口減少対策も踏まえた上での「魅力ある雇用」について (1) 市が考える魅力ある仕事の定義、定量的指標、企業と連携した情報公開の在り方について (2) 所得向上に対する市としての取組状況や展望について (3) 「島の推しごとグランプリ」の成果と今後について	村 川 拓 人

順	質 問 事 項	質 問 者
13	1 協同組合へ確認したところ、電気自動車充電施設の利用者数は1日に1台、少ないときは1週間利用者がいない場合もあると伺った。佐渡市役所本庁駐車場の借地に設置されている施設をはじめ、他所に設置された自動車充電施設について、利用実績の把握状況と、今後の設置・運用の目的を問う 2 新穂市民センターにおいて停電が発生した際、非常電源の容量不足により空調設備等を稼働させることができなかった事例を伺ったが、市内のほかの避難施設や拠点施設において、非常用電源で空調設備等を稼働できる体制になっているか問う 3 熊本地震等の報道では、避難所において男女トイレの距離が近い、個室が不足している等の課題が指摘された。これらを踏まえて、本市の避難所運営計画における改善策や今後の取組方針を問う。また、地震防災対策特別措置法に伴い作成が努力義務化された液状化ハザードマップについて、本市における作成状況を問う 4 三条市では、小中学校の体育館にハイブリット型冷暖房システムが導入されている。本市における小中学校体育館への冷暖房設備導入計画や見通しを問う 5 事務処理不適切事案の督促状発送事務について 督促状の誤発送に伴う事務処理不適切事案等に関する対応は完了したか問う。また、この返金処理に要した経費・時間・人員の規模並びに市役所内で事務処理不適切事案が相次ぐ根本的な要因と対策について問う 6 佐渡空港滑走路延長計画の現在の進捗状況と、佐渡からの臨時便等の運行に向けた見通しを問う 7 トレッキング客の利用が多い時期には、1日に500人規模の利用者が訪れることもある。このようなハイシーズン等において、期間限定で白雲台の営業ができないか、市の見解を問う	山 本 健 二

順	質 問 事 項	質 問 者
14	◎ 人が人らしく生きられる佐渡を子どもたちに喜んで渡すために質問をする 1 人権キャラバンからの佐渡市への要請について (1) 8月18日に訪問があったが、誰が対応する方針であったか (2) 人権キャラバンから受けた佐渡市の人権政策への改善要請は貴重なものと認識するが、どのように受け止め、人権政策に生かしていくのか 2 世界遺産登録2年後の取組に対するユネスコ世界遺産委員会からの佐渡島(さど)の金山への勧告について (1) 勧告を尊重し、行動を起こすことを求められているが、勧告内容はどのようなものだったとの受け止めか (2) それらの勧告を放置するとどうなるのか。放置しないために何をする計画か。特に歴史の影に置かれてきた部分については、新たにどのような方針を立て直しているのか (3) 民間の調査・研究について期待するものは何か。市としてどのような協力をするのか。国際社会の期待に十分に応えられる視点を持ち、質を担保することを目指しているか (4) 金山労働者など従事した全ての人々への追悼式の開催は、労働以下の労務従事者などへの差別、人権侵害との和解の象徴としても国際社会から評価されるものを目指すことを期待するがどうか 3 佐渡市独自の法定外税導入の検討について (1) なぜ法定外税導入が必要と考えているのか (2) 具体的に最も佐渡市の現状と将来にわたり期待する佐渡市独自の法定外税の役割は何か (3) 誰と議論する方針か。住民生活や観光客、訪問客など広く議論する場が必要ではないか (4) 島民生活に関わることであるので、丁寧な説明を広報すべきではないか 4 個人情報漏えいの報道の仕方について (1) 3月から4月にかけて多くの不適切事務処理が発覚したことから、副市長を先頭に、今後の再発防止に向けて努力中と認識しているが、どれだけの緊張感を持って努力しているか、その進捗状況を問う (2) 6月にプレスリリースされた「個人情報漏えい」という重大事件について、その文言が記載されていない理由は何か (3) 個人情報漏えいは、市民全体にも謝罪すべき事態であるとの認識はあるか 5 飛行物体が佐渡島の住宅街などの上空を飛行することについて (1) 最近、佐渡島上空を突然爆音とともに飛行物体が複数機で大佐渡山脈より低い空間を飛行することが度々あるようだが、これら戦闘機とも感じる爆音と速い速度の飛行物体が何かについて佐渡市は認識、把握しているか (2) 市は、上空の非日常の飛行についての事前の通告情報は必ず受けることになっているか。事前情報を受けた場合、市は住民などに対してどのように対応することになっているのか (3) 市民生活及び島内の生物への影響について、市の認識はどのようなものか (4) 佐渡島が生物、特にトキとの共生を大切にしている観点から、佐渡島上空での飛行は配慮し、避けてほしいことを外部機関に要請しているか	荒井 眞理